



北海道大学総長

山口 佳三

本学は、1876年に札幌農学校として設立され、今年で138周年を迎えます。この長い歴史の間、本学は「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」という4つの基本理念を建学の精神として受け継ぎ、教育研究の場で実践に努めてきました。

現在、我が国が直面している課題は、少子高齢化、地域コミュニティの衰退、グローバル化の進展とそれに伴う国際的な競争の激化など、多様かつ複雑化しています。このような課題を解決し、我が国及び世界の持続的発展に貢献するには、新しい社会的価値を創造できる人材の育成が重要であり、そのために大学が果たすべき責任は非常に大きいものです。

本学は、創基150周年という重要な節目である2026年に向け、本年4月、「北海道大学近未来戦略150」を策定しました。これは、「様々な課題を解決する世界トップレベル研究の推進」、「国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材の育成」、「学外との連携・協働による社会の課題解決、活性化及び新たな価値の創造」、「組織、人事・予算制度などの改革による持続的な発展を見据えた大学運営」、「教育研究の成果の積極的な発信」という5つの目標と目標達成のための具体的な計画を定めたもので、今後12年間、本戦略に基づき大学改革に取り組んでまいります。

大学が持続的に発展し、改革を推し進めるにあたっては、財務の健全性を確保すると同時に、その透明性を高め、皆様への説明責任を果たすことが重要です。本学では、財務諸表を公表するとともに、財務状況について正しく理解し、評価していただくため、本報告書を作成しておりますが、本年はより分かりやすく、身近に感じていただけるよう、内容・構成を一新いたしました。

本報告書が本学の財務状況への理解を深める一助となれば幸いです。